

ブロック会長 各位
 ブロック事業部長 各位
 都道府県協会事業担当者 各位

一般財団法人日本ドッジボール協会事務局

2018年度シニアチャンピオンシップの運営ガイドラインについて

平素より当協会事業にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。

シニアチャンピオンシップについては各ブロックより進捗報告をいただきありがとうございます。

上位大会に繋がる予選大会という位置付けとなりますので、各予選大会の該当カテゴリーは同一のレギュレーションで競技運営を行い、上位大会への代表チームを選出していただくために、大会運営上の共通事項を定めた大会運営上のガイドラインを以下の通り提示させていただきます。

(1) 実施カテゴリーについて

予選会として位置付けるカテゴリーは、『ファイターの部』『女子の部』の2部門となります。

大会により、名称の異なるカテゴリーで大会運営をする際は、大会要項に当該カテゴリーが上位大会に対応しているカテゴリーであることを明記してください。

(2) レギュレーションについて

別紙『2018年度版シニアカテゴリーレギュレーション』に準じて実施をお願いします。

また、普及活動の位置付けで未経験者や壮年・中年を対象としたカテゴリー（ふれあいの部・エンジョイの部）を積極的に実施していただきたいと思っております。なお、このカテゴリーについては、チーム単位だけではなく、個人単位で募集し、当日チームをコーディネートするなど、独自の弾力的な対応をしていただいて構いません。また、レギュレーションも柔軟に変更していただいても構いません。

(3) 大会主催について

ブロック連絡会として主催（主管）していただくことを想定していますが、諸条件によりブロック連絡会としての開催が難しい場合は、ブロック内の都道府県協会が主催（主管）をすることができます。また、既存の大会を予選大会として競技運営していただくことも可能です（但し、当該カテゴリーについては、当協会設定のレギュレーションで競技運営してください）。

(4) 大会名称について

原則として大会名称の一部に『シニアチャンピオンシップ』という言葉を用いてください。また、要項の中に上位大会の予選大会であるということに記載してください。但し、既存の大会でシニア（中高生・一般）以外のカテゴリーを実施する際の大会名称については別途ご相談ください。

(5) 大会参加申込書について

正式なチーム登録制度はまだありませんが、活動都道府県（本拠地）についての記載欄を設けています。

基準となる大会参加申込書を用意しましたので、適宜ご活用ください。別途、フォーマットを用意していただいても構いませんが、1ページ目の『大会申込・出場における確認事項』については、大会運営中に事故が発生してしまった際、大会主催者である皆さんの責任を回避または軽減させる可能性のあるものですので、同様の表記は必ず行ってください。（大会要項に反映させ、『大会要項を確認し、同意した』というチェックを入れてもらう方法でも構わないと思っております）

(6) 上位大会への出場資格について

JDBAに競技者登録している者が上位大会への出場資格を有します。但し、予選会に上位大会エントリーでの参加の場合、出場チームに登録競技者が「5名以上」エントリーされていればよいこととします。オープンエントリーに関しての登録必要人数は主催者の裁量とします。

但し、出場情報のデータ管理のため、競技者登録を行っていないエントリー選手には、JDBAメンバーサイトへの申請（申請段階までは年会費は発生しません）を必須とします。

なお、登録競技者については予選大会から競技者番号が表示された個人会員証の呈示義務を課しますので、大会エントリー表と個人会員証の照合を行ってください。大会エントリー表は別紙をご確認ください。一般競技者は青色の会員証、中高生競技者はオレンジ色の会員証です。

必要条件を満たさないチームはふれあいの部・エンジョイの部として出場するものとし、ファイターの部・女子の部の出場チームと試合を行うことはできません。

(7) 上位大会エントリーとオープンエントリーについて

これまでの小学生のように『所属する加盟協会の中で出場権を決定する大会』ではなく、チーム・

メンバー事情を考慮し、エントリー選択制としています。

①上位大会エントリー

- i) 各予選大会のうち、チームとして上位大会進出を目指す場合に選択するエントリーです。試合結果に応じて代表権を得ることが目標ですので、それぞれのチームが選択できるのは、全ての予選を通じて1回に制限します。

②オープンエントリー

- ii) チームとして上位大会エントリーせず大会に出場する際のエントリーです。上位入賞をしても代表権はありません。これは参加数を増やすことで大会を活性化させ、参加料収入による大会運営費用を賄うためのものです。
(その他詳細は別紙『チーム編成と出場大会に関する基準(2017年度版)』をご覧ください)

い)

(8) **上位大会出場チーム数について**

- ・全日本女子総合選手権 『シニア女子の部』
ブロックごとに2チーム

全体では前年度実績の12チームを想定していますが、半数のブロックが前年度未開催のため、枠の確定は全ブロックの見通しが出了後となります。ご了承ください。

※上位大会エントリーが1チーム、且つ要項内でのブロック推薦の条件を満たす場合は当該チームの推薦を認める。

※参加料免除の特典は設けませんが、12チームを下回った場合は、日本協会理事会の承認を得た上で、予選大会参加チーム数の多い地区に1枠ずつ割り振ります(詳しくは女子総合選手権の大会要項案をご覧ください)

- ・J.D.B.A.全日本選手権

ブロックごとに3チーム+追加推薦枠 計32チーム

※ブロック内で開かれる予選大会が1回の場合は、大会順位枠(最上位)1チーム、主催者推薦枠2チームを上位大会出場チームとして取り扱ってください。

※主催者推薦枠の決定方法については、大会要項等で事前に周知を図ってください。

※J.D.B.A.全日本選手権の開催地に属するブロック(2018年度は東海ブロック)の予選大会については、上記の3チームの他に、主催者推薦枠2チームを上位大会出場チームとして取り扱ってください。

※追加枠については7月末時点のブロック別の競技者登録数に応じて、推薦枠を与えるブロックを決定します。(詳しくは全日本選手権の大会要項案をご覧ください)

(9) **順位決定方法の周知について**

- a) 各予選会における順位決定方法については、あらかじめ大会要項等にて周知を図ってください。
- b) (6)にあるよう同一の категорияにおいて上位大会エントリーとオープンエントリーの設定があり、大会順位と上位大会の出場順位が必ずしも一致しないことから、上位大会への出場資格を得る方法をあらかじめ周知する必要があります。
- c) 次点チームや出場資格の増枠が発生することも踏まえたうえで順位決定方法を大会要項に記載してください。
- d) ブロック内で複数の予選会を開催する場合
2回以上予選を開く計画をお持ちの場合は、事前に要件を調整・確認いたしますのでお知らせください。

(10) **大会運営費補助について**

上位大会エントリーとオープンエントリーを問わず、夫会にエントリーしたチームの選手のうち、登録一般競技者1名につき300円、登録中高生競技者1名につき100円

1チームにつき1,000円を主催(主管)ブロックに補助します。

(ふれあいの部・エンジョイの部については検討中です。金額は合算し、主催(主管)に対し年度末の支給を予定しています)。登録競技者の情報共有のため、大会開催日の10日前までに、全チームの参加申込書(エントリー)の原本を事前にお送りください。

提出後にエントリー表の変更を受け付けた場合は必ず、差し替えを行ってください。活動補助金の金額は日本協会に提出されたメンバー表を基に決定します。

(11) **送付物・対応について**

ファイターの部・女子の部の入賞チームについては、賞状(印刷のあり・なしを選択できます)を用意します。

カテゴリーを問わず、出場選手数に応じて参加賞(クリアファイル)を用意します。

カテゴリーを問わず、出場選手数に応じて団体総合補償制度費用保険に加入します。

こちらにつきましても、大会の10日前までに数量等を申し出てください。

＝手続きについて＝

- ①予選大会（シニアチャンピオンシップ）の実施申請について
各ブロックの事業部長（事業担当者）は大会を設定していただき、大会要項と申込書（大会エントリー表）のデータを日本協会事務局に提出してください。
ブロックとして実施しない場合は、実施を希望する加盟団体がブロック内の他加盟団体に意向を確認したうえで前述同様に対応をしてください。
- ②エントリー表の提出
大会10日前までに日本協会事務局にご提出ください。
その他については下記の『エントリーチェックの流れ』をご参照ください。
- ③上位大会進出チームの報告期限
全日本女子総合選手権・J.D.B.A.全日本選手権ともに予選大会終了後5日以内に報告をしていただきますが、上位大会が差し迫っている場合（概ね2週間以内）は、大会終了後、速やかに報告をしてください。

＝エントリーチェックの流れ＝

- 1) 主催（主管）が参加受付時、シニア全国大会エントリーするチームのエントリーメンバーのうち5名以上が登録競技者であるか確認を行う。
- 2) 大会開催前に全チーム分のエントリー表【コピー】を日本協会へ提出、日本協会でのエントリーに問題がないかチェックする。
⇒チェックを行った結果を日本協会から主催（主管）へ通知する。
- 3) 主催（主管）は大会当日、状況に応じエントリーメンバー表【コピー】と、登録競技者の個人会員証を照合する。
- 4) 大会終了後、出場各チームの登録競技者人数を別紙の明細書にまとめ、活動補助金の申請を行う。
※同一ブロック内で複数回行う場合は、最後の予選大会が終了してから提出してください。
その際、重複をしていた選手は1名分とカウントし、申請をお願いします。